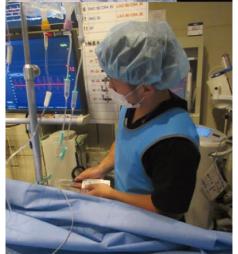


がんばってます Vol.37

心臓カテーテルチーム

日々頑張っている仲間たちの姿を通して友愛記念病院を紹介するこのコーナー。

第37回の今回は、心臓カテーテルチームにスポットを当てました。



Q

心臓カテーテル検査とは、どんな検査ですか？



山内医師

直径約2 mm ほどの管(カテーテル)を手首や大腿部から心血管内に挿入して行う検査で、心不全に対する薬物治療の調整を行ったり、内科的治療から外科的治療へ移行する目安とすることができます。さらに血管内に造影剤を注入することで狭心症や心筋梗塞などの診断にも優れ、治療への速やかな移行や外科的治療選択にも有用です。最近は、機器が進化したことで診断精度が向上し、以前は開胸手術でしかできなかった治療が開胸



心臓カテーテル検査の様子

せずに行えるようになるなど、治療の幅も広がっています。



Q

友愛記念病院の心臓カテーテル検査の特徴は？



山内医師

年間約400から450件程度の心臓カテーテル検査を実施。その内、狭くなった動脈を血管の内側から拡げるための手術は、緊急も含めて年間約160件行っています。今後は、特殊カテーテルを用いて冠動脈の中の石灰化した部分を削り取る治療もできるようになる予定です。

Q

チーム発足の理由と活動内容は？



山内医師

「24時間365日心臓疾患の患者さんを受け入れる」という目標を掲げ、これを実行するための人材を育成し体制を整えるため2017年に多職種からなるチームを立ち上げました。チームでは、各職種の代表が毎月1回会議を開催し情報の共有や連携強化を図っています。また、今はコロナ禍で休止中ですが、普段は勉強会も開催して専門知識を深めています。